

第 61 回アジア太平洋プライバシー機関（APPA）フォーラム コミュニケ（当委員会仮訳（抄））

ブリティッシュ・コロンビア州情報プライバシー・コミッショナーオフィス（OIPC）は、2024年6月19日から20日まで、第61回アジア太平洋プライバシー機関（APPA）フォーラムをオンライン形式で開催した。本フォーラムには、アジア太平洋地域の20のAPPAメンバーが参加した。

2日間の集中的なフォーラムを通して、メンバーは、グローバルなプライバシー問題、規制に関する経験及び執行上の課題について幅広く議論し、最新の動向や洞察を共有した。

フォーラムのハイライトは以下のとおりである。

新規参加メンバー：

APPAは、21番目のメンバーとしてマレーシア個人データ保護局の参加を歓迎した。

1日目

1日目、第61回APPAフォーラムは、ブリティッシュ・コロンビア州情報プライバシー・コミッショナーでありAPPA事務局長であるMichael Harvey氏によって開会され、同氏はAPPAメンバーの参加を歓迎し、議題の概要を説明した。続いて、Songhees 民族コミュニティのメンバーであるDiane Sam氏が伝統的な歓迎の辞を述べた。第60回APPAフォーラムの議事録が承認され開会式は終了した。

1日目はAPPAの定例的な議題が中心であった。

正式な議題は、APPA事務局及びガバナンス委員会委員長としてのOIPCからのガバナンス委員会レポートから始まった。シンガポール個人データ保護委員会（PDPC）が新たなAPPA事務局として指名され、シンガポールPDPCのLew Chuen Hong コミッショナーは、OIPCの2016年からの貢献に謝辞を述べた。これに続いて、APPAのワーキンググループである、コミュニケーション・ワーキンググループ及びテクノロジー・ワーキンググループの活動報告が発表された。

次いで、メンバーがそれぞれのジュリスディクション・レポートの発表を行い、各法域におけるプライバシーに係る主要な動向について最新情報を提供した。発表者は、過去6か月間の各法域における進展につき、フォーラムで関心を集めそうなものについて概説することを求められた。このセッションで議論されたトピックには、以下のようなものが含まれた。

- 調査と執行
- 戦略的優先事項

- データ侵害ポリシーの遵守
- 生体認証技術の規制
- こどものプライバシーと安全の確保
- A I ガバナンスの政策と取組

続いて、二つの発表が行われた。

米国雇用機会均等委員会コミッショナーの Keith Sonderling 氏が、職場における A I について事前録画による発表を行った。

香港個人データ・プライバシーコミッショナーオフィスが、「A I : モデル個人データ保護フレームワーク」の公表について発表を行った。

2日目

フォーラム2日目は、Harvey コミッショナーによる同日の議題の概要説明から始まった。続いて二つのパネルディスカッションが行われた。一つはオタワ大学疫学・公衆衛生学部教授 Khaled El Emam 氏の主導による合成データ及び A I に関するもの、もう一つはカナダ連邦プライバシー・コミッショナーオフィスの主導による年齢認証に関するものであった。

以下のプライバシーに関するグローバルなネットワーク及び組織より最新情報が紹介された。

- データ保護に関するイベロアメリカンネットワーク
- グローバルプライバシー執行ネットワーク
- グローバル越境プライバシールール
- 世界プライバシー会議 (G P A)
- G P A 国際執行協力ワーキンググループ
- G P A データ保護とその他の権利・自由に関するワーキンググループ
- G P A デジタル市民・消費者ワーキンググループ

2日目の最後には、コミュニケ案の公表が承認され、O I P C からの閉会の挨拶がこれに続いた。

次回会合

第 62 回 A P P A フォーラムは、日本の個人情報保護委員会の主催により、2024 年 11 月 26 日から 27 日まで日本の東京において開催される。

(以上)